

2/25 NPO法人上士幌コンシェルジュ  
配送容器、牛肉寄贈

NPO法人上士幌コンシェルジュ様から高齢者給食サービス用配送容器100セットと、上士幌産和牛100万円分を寄贈いただきました。配送容器は高齢者給食サービスで活用され、上士幌産和牛についてはこども園、町内小中高等学校の給食で提供されます。

コンシェルジュ田西代表理事は「配送容器はコンパクトで洗いやすいので職員の負担軽減になれば、牛肉はなかなか食べられない品質の高い和牛なので子どもたちにたくさん食べてほしい」とお話しいただきました。



3/1 長年本町の社会福祉に貢献  
社会福祉関係功労者等表彰

社会福祉関係功労者等十勝振興局長表彰が行われ、長年本町の社会福祉を支えられた5名の方に表彰が行われました。

今回、10年以上民生委員児童委員を務められた、齋藤美恵子さん、長屋晴夫さん、馬場美子さんの3名と、社会福祉関係団体の役職員として15年以上勤められた大友禮子さん、河瀬貴さんが表彰されました。

竹中町長は「これからも孤独や不安を抱えているひとを支えてあげてほしい」と話しました。



3/1 適切な選挙運営が評価  
北海道選挙管理委員会表彰

上士幌町選挙管理委員会が、第49回衆議院議員総選挙に係る北海道選挙管理委員会表彰を受賞しました。

上士幌町選挙管理委員会は、令和3年10月31日に執行された第49回衆議院議員総選挙において活発な広報活動を行うなど、適切円滑な選挙事務を執行したことで投票率の向上につながったことなどが評価されました。



3/9 これからもお元気で  
100歳を迎えられました

2月25日に石川秀次さん(写真左)、3月9日に日置マキさん(写真右)が100歳を迎えられ、祝状と祝金が贈呈されました。

石川さんは「100歳まで元気にすごせてよかった。ありがたい賞をもらえてうれしい」と100歳を迎えられた感想をお話しいただきました。

日置さんのお家族の方からは「現在でも一人暮らしをしている。お肉や魚などいまでも何でも食べることが元気の秘訣では」とお話しいただきました。



令和3年度 上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式



3月12日(土)、生涯学習センターにおいて『令和3年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式』が行われ、本町の文化の向上やスポーツの振興に功績のあった団体、個人が各賞を受賞されました。

文化賞・スポーツ賞等 各賞受賞者 (敬称略)

- ✳文化賞《団体》  
上士幌高等学校新聞局
- ✳文化奨励賞《団体》  
上士幌小学校PTA
- ✳少年文化奨励賞  
小 椋 結 彩/小 椋 蓮 司/矢 戸 結 菜
- ✳少年スポーツ賞  
石 川 優 和/北 澤 星 来
- ✳少年スポーツ奨励賞《個人》  
福 澤 芯之助/森 田 晴 水/新 津 愛 理  
荒 木 花 萌/小 嶋 竜之介
- ✳少年スポーツ奨励賞《団体》  
✳上士幌中学校女子卓球部  
黒 沼 紗 千/清 水 優 唯/石 川 桜 来
- 兼 子 胡 桃/阿 部 このか/荒 木 花 萌  
市 田 愛 奈/伊 藤 史 蘭/新 津 愛 理  
矢 戸 晴 菜/小 川 梨 乃/清 水 咲 来
- ✳十勝合同(ハンドボール)  
宇佐美 仁 萌
- ✳少年スポーツ努力賞《個人》  
石 川 優 月/福 澤 蒼二朗/阿 部 このか  
伊 藤 史 蘭/市 田 愛 奈/矢 戸 晴 菜
- ✳少年スポーツ努力賞《団体》  
✳上士幌中学校女子バスケットボール部  
佐々木 桃 花
- ✳上士幌中学校ソフトテニス部  
高 井 苗々葉/杉 井 蒼 空/森 田 晴 水  
新 居 莉 乃/伊 東 海 里/西 垣 瞳

2/24 多くの方が応募されました  
かみしほろフォトコンテスト

昨年12月から2月15日までの期間で開催された「かみしほろフォトコンテスト」の審査が行われました。今回のフォトコンテストは日本全国から133人、370作品の応募がありました。審査を行った日本写真協会会員の辻氏は「全体的にレベルが高く選ぶのに苦労した。糠平や三国峠などの写真が多く、苦労して撮影されたのではと感じた」とお話しいただきました。

結果は町商工会HPIにて公開中です。また、入賞作品は写真パネルを作成し、観光施設等に展示されます。

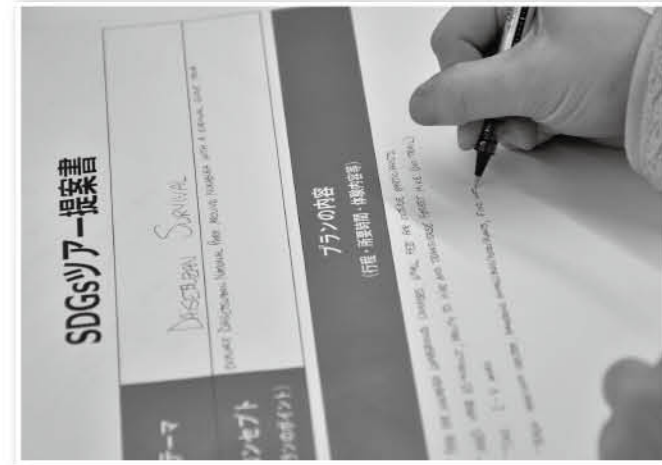




# 若者×多様性×ジェンダー平等 上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS プロジェクトチーム活動報告

2月22日、「第6回プロジェクトチーム」を開催しました。今回の会議では、教育旅行や企業の研修旅行向けスタディツアーについて、グループ毎にそれぞれツアーコンセプトを決め、体験内容及び料金、ルートの設定などを行い、具体的な提案書をまとめました。

メンバーからは、全部で13のツアー提案がなされ、今後は本提案をベースに学校や旅行会社などに、商品化への働きかけを行っていく予定としています。



## SDGs出前授業 自分の出来る行動について考えました

さまざまな課題を自分ごととして考え、自らが率先してSDGsの達成に向けて行動できるよう、SDGs出前授業を開催しています。

2月24日の小学校での授業では、町民向け普及啓発チラシの作成に向け、自分たちができる「世界の未来を変える私たちの行動」を取りまとめました。チラシは3月中に完成させ、4月から順次配布していく予定としています。小学生が考えた日ごろからできるSDGs達成に向けた取り組みを、ぜひご覧いただければと思います。



▲3月1日上士幌高校卒業式

## 2月・3月の まちのわだい

### 役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

- ◆名 前：渡邊 明日華 (28歳) 初めまして！2月から地域おこし協力隊に就任いたしました渡邊明日華です。
- ◆職 種：観光誘客組織づくり推進員(商工観光課) 上士幌町の見どころをたくさん発見・発信していきたいと思っております！よろしくお願い致します！
- ◆出身地：士幌町



## 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: まちづくり会社でのお仕事

記: 生涯活躍のまち推進員 岩部 栄美

皆さまこんにちは。昨年10月に地域おこし協力隊として上士幌に移住して参りました岩部です。私は、生涯活躍のまち推進員としてまちづくり会社に出向しています。

まちづくり会社のお仕事ですが、最初は想像できずにいました。ですが「生涯活躍のまち推進」という仕事内容に興味を持ち、協力隊に応募して現在に至ります。

まちづくり会社での私の担当している仕事は主に『人材センター』と『無料職業紹介所』となっており、草刈りや窓拭き等が困難な方たちの『困りごと』を解決する人材センターの運営(有料)、上士幌でお仕事を探している方のお手伝いをしています。私がお仕事を通じて上士幌で出会った方たちは皆さん優しく接してくれ、そのおかげでありたいことに毎日楽しく仕事をする事ができています。

今後は「生涯活躍できるまち」のシステムを構築するお仕事を、まちづくり会社の皆さまと共に考え、実現させたいと思っています。自分が携わったシステムで、自分が歳を重ねても「活躍できるまち上士幌」で元気に生きていきたい!そんな思いを胸に抱き日々頑張りたいと思っています。困りごとや町内でお仕事をお探しの際はお気軽にご相談ください。





短歌

泥にまみれ甜菜ふたやま道端に積まれてありぬ今年も終りの  
 湯湯婆ひとつに老ひたる足を重ねあふ  
 六十歳を経てふるぶなり岩田帯安産守りに父母憶う  
 春風の思わぬ冷たき氣付きたり仕事に行こうと歩き始めて  
 久々の動画収録のど枯し二時間かけて思いを託す  
 去る三月あつと言う間の三ヶ月実りの多き今年にしたし  
 賑やかに雀の声のする朝に晴れ晴れとしてウオーキングする  
 春風に雪解け近くなりにつつ日射しも優しく感じる今朝は  
 子育ては解らぬ事の多々あれど葛藤し学び日々成長す  
 休みなく遊びに行くひまも無くて今年も弥生誕生日も過ぎる  
 父や兄船に働く姿見て育ちし浜よ忘れ難きに  
 コロナ禍の治まる氣配の無きままに三度目の春雪解け進む  
 窓を打つ風の音に目覚めれば明るき光の射して温とし  
 冷え著きけふの午後は読書する毛布の如き腰巻きをして

石 高 中 小 中 松 鈴 三 堀 瀬 尾 本  
 川 橋 村 松 濱 田 木 角 籠 戸 野 間  
 裕 博 仁 義 夏 理 一 錦 洋 よ し 栗  
 子 明 志 れ 実 希 恵 豊 彦 助 明 乃 風



◎ 令和3年度の広報もとうとうこれが最後となりました。今年もコロナのため、コロナ以前のような広報誌作りはできませんでしたが、取材に対応いただいた方々、短歌を毎月投稿いただいている皆さまなどさまざまな方のおかげで今年も12号発行することが出来ました。本当にありがとうございました。…Y

◎ 広報担当に異動してから4年もの月日が経ちました。振り返ると、広報以外にもさまざまな仕事に追われる4年間でしたが、さすがに少し長すぎかな、と思っています。新型コロナウイルスの影響でいろいろとぐちゃぐちゃになった部分もありましたが、何はともあれ、皆さまのおかげで無事4年間48号を発行することができました。今まで本当にありがとうございました。…T

広報 **がみしほろ** 5月号は 4月25日(月) 発行予定

令和4年 2 月末現在の 人口

|     |                |
|-----|----------------|
| 男 性 | 2,421人 (-1人)   |
| 女 性 | 2,513人 (-8人)   |
| 人 口 | 4,934人 (-9人)   |
| 世帯数 | 2,587世帯 (-8世帯) |

令和 3 年度 ふるさと納税寄付金

|      |          |                 |
|------|----------|-----------------|
| 2 月分 | 1,832 件  | 30,091,000 円    |
| 累計   | 93,105 件 | 1,468,816,000 円 |

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
 ※3月9日現在

お詫びと訂正

広報3月号にて掲載した令和3年度ふるさと納税寄附金において、寄付件数の誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。

|     |        |          |
|-----|--------|----------|
| (誤) | 1月寄付件数 | 62,006件  |
|     | 累計寄付件数 | 126,273件 |
| (正) | 1月寄付件数 | 27,006件  |
|     | 累計寄付件数 | 91,273件  |

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 48  
 令和4年  
 3月25日

TITLE: 1年生がフードロスについて勉強しました

2月25日(金)、1年生の家庭総合で「フードロス」について学ぶ機会があり、講師として道の中埜さん、ルピナの嘉藤さん、本州から移住し農業を営む横山さん、そしてこの問題にNPO法人として取り組んでいる札幌在住の木村さんもリモートで加わっていただきました。その中で興味を引いたのは「3分の1ルール」というもの。賞味期間の3分の1を切ったら廃棄するという業界の慣行があるそうですが、ルピナでは企業努力でルールに拘らず、ロスを最小限に抑えるようにしているそうです。この後、生徒たちが話し合ったことをグループ毎に発表しました。この授業を通し、生徒たちもフードロスについてどう取り組んでいくべきかを学ぶ良い機会となりました。



△講師の皆さん(左から木村さん、嘉藤さん、横山さん)



△講師の話グループ学習でまわっています



△グループ学習の成果を発表しています

上士幌高校新聞局通信



卒業生の皆さん、お元気で

文責 大川 暖人

3月1日に高校で卒業式が行われました。今回も昨年と同様にコロナ感染対策として吹奏楽部と生徒会執行部、私たち新聞局以外の在校生は参加できないまま、また保護者も人数制限をしてお式でした。卒業生40人は、式が終わった後のHRでそれぞれ一言ずつあいさつしたり、4人の担任の先生からことばをもらったりしていました。そして終わった後は、アルバムにサインを書いたり、クラスの友達と一緒に写真を撮ったり、談笑したりと高校生活最後の時間を過ごしていました。

最後に、来年度からは、先生や保護者はもちろん、在校生も参加できるようになってほしいと思います。そして、そのためにはコロナが一日でも早く終息することを祈るばかりです。



△卒業式前の教室で



△卒業証書が授与されます



△生徒玄関前で集合写真を